

施策分析シート（平成24年度）

No1

施策名	広聴機能の充実	施策No	13-02	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤	内線	2160
関連部課名	総務企画部総務企画課、秘書課								
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[VII]							
	政策	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]							
目的	行政サービスに対する区民のニーズを把握するために、要望等を日常的に聴取する「区民の声」と、区政に対する区民の要望や意識を調査し、区政運営の基礎的データとして活用するための「区政世論調査」を中心に広聴機能の充実を図り、区民の立場に立った区民本位の区政の実現をめざす。								
指標	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明	
			21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (28年度)		
	①	「区民の声」収受件数	1,617	1,633	1,921	-			
	②	「区政世論調査」回収率	79.4%	70.4%	63.5%	65.0%	70.0%		
	③	E モニターの委嘱者数	58	66	67	111	100		
	④								
	⑤								
現状と課題 (指標分析)	・区長へのはがき、文書、電話、来所、FAX、電子メールにより、区民からの意見・要望・質問・苦情などを受け付け、所管課へ対応依頼等を行っている。 ・荒川区に居住する満20歳以上の区民1,500人（20年度までは1000人、21～23年度1,300人）を対象に、区政世論調査を実施している。 ・インターネットを使用したモニター制度で、①モニター専用掲示板への書き込み（随時、区への意見、要望を寄せる）②アンケート調査などを行っている。 ・荒川区の魅力を区民に広く周知し、区政への関心を深めていただくとともに、区施設、区事業に対する区民意見を聴取するため、随時、施設見学会を実施している。								
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ・「区民の声」と「区政世論調査」はいずれも重要な広聴手段であり、これらの事業を中心に今後とも効果的・効率的な手法を採り入れながら広聴活動の充実を図る。 ・Eモニター制度は、「区民の声」や「区政世論調査」を補完する事業として、広聴活動が行え、即時性、費用対効果の点からも優れており、モニター数の増加を目指し、より多くの区民意見を聴取する。 ・オープン前の新規施設など、魅力ある施設見学会を実施して、見学会参加者の増加を目指し、より多くの区民意見を聴取する。								

施策の分類		分類についての説明・意見等
24年度設定	25年度設定	
推進	推進	区民の声や区政世論調査は区民の意見や要望を広く収集し、区政の改善に結びつけるものであり、優先度が高い。

施策分析シート（平成24年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		22年度	23年度	24年度 設 定	25年度 設 定	
あらかわ タウンミーティング	01-01-11	620	1,956	推進	推進	これまでと異なる広聴機能であり、内容を充実した上で、継続実施していく。
パブリック・コメント 制度の推進	01-01-18	0	0	継続	継続	要綱に基づき、適切に実施する。
あらかわ・Eモニター	01-02-07	52	53	継続	継続	「区民の声」「区政世論調査」を補完する事業として、テーマを絞った広聴活動ができるといった利点がある。即時性、費用対効果の点からも優れている。
区政世論調査	01-02-08	1,693	1,481	推進	推進	区の重点事業や今後取り組むべき課題を把握するために、区民全体を対象とした広聴活動として効果的な事業である。
区民の声	01-02-09	8	15	重点的に推進	重点的に推進	「区民の声」は広聴の中核をなす最も効果的かつ重要な手法である。区民の意見や要望を通して区政の改善が図れるよう、各所管部署との連携・調整をより一層強化していく。
施設見学会（庁舎含む）	01-02-12	123	125	継続	継続	庁舎見学会は、小中学生への教育の一環としても、今後とも維持して実施すべき事業である。施設見学会については、区民の参加状況を見て、施設だけではなく、地域の特性を見学するなど実施のあり方を検討する。
合 計		2,496	3,630			